

はじめに

平素より、本市の保健衛生行政に御理解と御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

令和6年の日本の出生数は、初めて70万人を割りました。本市においても同様に出生数が減少し、人口の減少も続いていることから、「呉市人口戦略対策本部」を立ち上げ、「呉市人口戦略プラン」を取りまとめ、人口減少が緩やかになるよう、また、人を惹きつけるまちを目指し取り組みを進めています。

母子保健では、安心して妊娠、出産、育児ができる支援や環境づくりを、健康づくりでは、健康寿命日本一のまち「くれ」の実現に向け、市内各地区での健康・食育等の事業や健診受診の促進などの取り組みも行っています。

新型コロナ感染症の収束以降は、国内外問わず人の移動の活発化に伴い、感染症がより身近に、拡大の速度も以前に増して速くなってきているため、市民生活への影響を最小限とする将来を見据えた対策が重要となってきました。

本書は、令和6年度の呉市における保健衛生業務の実績や衛生統計データを収録していますが、その内容をご覧くださいと、保健所が取り組んでいる保健衛生活動が、市民生活に非常に身近なところにあることを実感していただけたと思います。

そして、これらの衛生統計データの過去と現在を比較することにより、これからの保健衛生活動が目標とすべき指標や、新たな取り組みにつながる道標になると考えています。

令和6年3月に策定した「第4次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）」の計画事業の進捗状況も確認しながら、市民の健康な生活の実現に向けた取り組みを着実に推進してまいります。

食品衛生につきましては、食中毒等の健康被害防止のために、関係事業者に対する監視や指導の実施、適切な情報提供や啓発活動により、市民の皆様の食の安全確保に努めてまいります。

さらに、動物愛護につきましては、犬猫の譲渡の推進や地域猫活動等における不妊去勢手術への補助などにより、動物愛護の活動や啓発に努めてまいります。

最後に、本書に収録した衛生統計データをご確認いただき、広く活用いただければ幸いです。

令和8年1月

呉市保健所長 内藤 雅夫